

- ・平成31年3月23日（土）井内会館にて、井内・藤巻地区の堤防の整備等の整備状況のご報告と、新たに生まれる水辺空間について地元の方々と意見交換を行う第4回井内・藤巻地区市民部会の「かっぱの会」を開催しました。
- ・今回の市民部会では、どんと祭時のお焚き上げエリアの整備案など、今後の整備予定や、これまで頂いた意見を踏まえた堤防整備等の内容、工事進捗状況のご報告を行い、その後、当地区の河川空間の利活用をテーマにワークショップ形式による意見交換を行いました。

- 日時：平成31年3月23日（土）14時00分～15時30分
- 場所：井内会館
- 出席者：参加人数 16名
- 事務局：北上川下流河川事務所、石巻市、宮城県東部土木事務所

- ・お焚き上げエリアを資料の位置より、もっと川側に寄せてほしい。
- ・お焚き上げでは、大半の人がお飾りなどを車で運んでくる。どんと祭り開催時は、相当混雑しそうなので、空き地を見つけて頂いて、駐車場を確保していただきたい。県道と堤防の間に砂利敷程度の整備を行って、駐車場所にできないか。

- ・川沿いの道路が今より広がるので散歩によい。
- ・新しい堤防には散歩中に座ることができるものとして、法尻の法留め（石積み端部）があると聞いて安心した。
- ・井内地区は奥に深いので、車で訪れる人も多くなる。河川堤防沿いを散歩したい人たちのための駐車場が必要。
- ・普段は、芋煮会やバーベキューに活用できると良い。
- ・ウォーキング大会、釣り大会などが開催できると良い。きれいな景色を眺めながら、川沿いをぐるりと一周したい。
- ・犬の散歩時の犬の糞が一番懸念されるのでマナーを守ることが必要。
- ・階段への誘導標識など、何かあったときの避難経路の明示があると良い。
- ・以前から要望しているが、津波浸水表示（痕跡高）を建ててほしい。

- ・旧北上川という名称の“旧”が付くのは非常に快く思わない。北上川にもどせないか。



参加者と事務局で集合写真



整備案等の説明を聞く参加者



河川沿いの空間の利活用についてワークショップ

～旧北上川かわまちづくり～ 第4回「住吉・大橋地区」市民部会開催概要

- ・平成31年2月2日（土）石巻市住吉会館において、住吉・大橋地区の堤防等の整備の内容や新たに生まれる水辺空間等について、地元の方々と意見交換を行う第4回住吉・大橋地区市民部会「住吉大橋開拓チルドレン」を開催しました。
- ・今回の市民部会では、大島神社の川側や住吉小学校川側のテラスの整備内容と現在施工中の工事に関する報告と、今後の利活用の具体化のためのアンケート形式実施について説明を行ったほか、質疑や意見交換を実施しました。

<第4回「住吉・大橋地区」市民部会>

- 日時：平成31年2月2日（土）14時00分～16時00分
- 場所：石巻市住吉会館
- 出席者：参加人数 9名
- 事務局：北上川下流河川事務所、石巻市

<当日の主な意見>

【河川空間の整備に関する意見】

- ・堤防天端で自転車の乗り入れの利用をするならば、自転車を置ける場所があると便利。
- ・住吉公園のトイレは神社の雰囲気に合わせてデザインを配慮してほしい。
- ・住吉上流端まで行った際、トイレのある住吉公園まで戻るのに距離があり移動が大変であるので、住吉小学校前の天端広場の四阿付近にもトイレを設置してはどうか。
- ・住吉公園にあった牡鹿半島から昔持ってきたと思われる貴重な石もあるので、小さいものでもよいので新しい住吉公園に再設置してほしい。
- ・修復する雄島に釣りができるスペースがほしい。
- ・震災前に雄島にあった松や桜を再現できるとよい。
- ・干潟空間に干潮時にも生物が残るように潮溜りができるようにしてほしい。
- ・干潟空間の付近に計画されていた水制工は、ない方がすっきりしてよい。

【河川空間利活用の意見を募るためのアンケート実施について】

- ・アンケートを各戸に配布するのは町内会でもよいが、日中は働いている人が多く全戸から回収をするのは大変である。
- ・各戸を訪問するなどのアンケート回収の方法は、アンケートの回収率が低いと予想される。
- ・アンケート回収は郵送のほうがよいのではないかと。
- ・整備案を説明する資料は堤防を図面で示すよりも、VR画像や模型を撮影した画像のほうが一般の人には分かりやすい。



参加者で集合写真



整備案の説明を聞く参加者



整備の内容や河川空間の利活用について質疑応答

